

2021年6月16日

関係各位

2020年1月～12月の国内イベント消費規模推計発表 イベント消費規模は8兆6,649億円（前年比49.5%）

日本イベント産業振興協会(JACE)ではさまざまなカテゴリーのイベントに実際に足を運ぶ生活者の消費額を2012年より定期的に調査しています。今回の「2020年イベント消費規模推計報告書」では、イベントに対する様々な支出(出発前、交通費、宿泊費、会場内、会場外、イベント後)を含めたイベントの全体消費規模金額は8兆6,649億円(前年比49.5%)と2012年以降、初めて減少しました。どのイベントカテゴリーでも減少しており、その中でも会議イベントは9,038億円(前年比40.5%)、興行イベントは2兆6,613億円(前年比43.5%)、スポーツイベントが1兆0,764億円(前年比44.2%)と大きな影響を受けました。

今回からオンラインイベントに関する意識についても新たに調査項目に加えました。今回の調査対象者では、「音楽アーティストのライブ」で2020年のオンラインイベントの参加率は17%程度あり、参加意向は32%となっており、次いで「観劇」や「エンターテインメント性の高いショー」でも20%程度の参加意向となっています。また、オンラインイベントのイメージは「移動時間が節約できる」、「交通費や宿泊費が節約できる」が55%を超え、オンラインイベントの特性を活かしたイベントへの参加がWithコロナの環境において急速に進んでいることが見受けられます。

第7回を迎えた「JACEイベントアワード(後援:経済産業省)」のエントリー作品にも、新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じたイベントやリアルとオンラインを組み合わせたハイブリッドイベントなど新たな形式にチャレンジした作品が多数応募されています。Withコロナの環境下で、企業が社会課題解決にチャレンジするイベントや最新テクノロジーの利活用などにより来場者の感動をさらに増幅させるなどイベントは新たな領域を拡大していくフェーズになったと考えられます。

日本イベント産業振興協会 は With コロナで特にデジタルテクノロジーにより大きく変化していくイベントを再認識・再定義すると共に、改めてイベントならではの「人が集まる」という臨場感、同時性という特徴、その結果「人の心を動かす」というエモーショナルな価値を提供する手法という原点を捉え直して、今後も活動を行っていきます。

本調査報告書「2020年イベント消費規模推計報告書」は6月17日より協会ホームページ <http://www.jace.or.jp/>より購入できるようになりますので、ご活用いただければ幸いです。

【本件に関する問い合わせ先】

一般社団法人 日本イベント産業振興協会 (担当:中尾、加来)
TEL:03-3238-7821 FAX:03-3238-7834 E-mail:pr@jace.or.jp